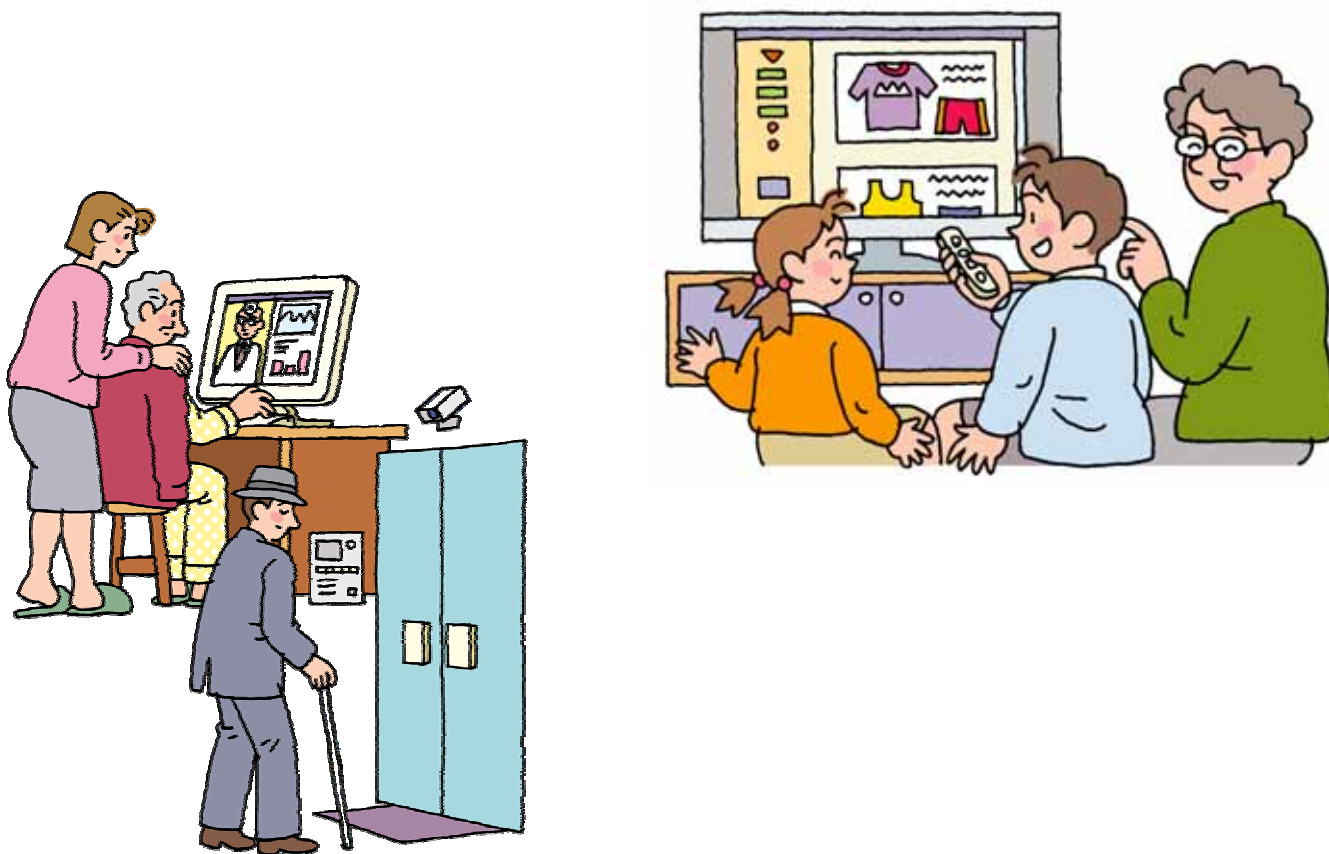


美馬市地域情報化の将来イメージ

これからの美馬市は、飛躍的な都市化を望むのではなく、市民にとって、いつまでも住み続けたいまちづくり、訪れる人が幾度となく足を運びたいまちづくりを進めることが、地域の持続的な発展につながると考えられます。そのためには、現代を支え、次代を担う人材の育成を図るとともに、地域の特性（文化・自然）を活かした、すべての市民が安心して快適に暮らすことができる心なごむやすらぎのまちづくりを推進していく必要があります。

美馬市地域情報化の将来イメージとしては、美馬市広域ネットワークの整備による地域情報化を経て、計画的に美馬市のデジタルデバイド¹⁴が解消され、ユビキタス¹⁵社会へと発展していくことを目指していきます。



14 デジタルデバイド(Digital Divide)

ITの普及により、逆にITを使いこなせるか否かで一種の階級分裂が生じ、社会問題となっているとの考え方を端的に表わす言葉。デバイド(Divide)には、「分割する」といった意味がある。デジタル技術による社会的区分ともいえる。

15 ユビキタス

ラテン語で「同時にいたるところで存在する」という意味。インターネットなどの情報ネットワークに、いつでもどこからでもアクセスできる環境を指し、21世紀の情報社会の方向性を示す言葉として用いられている。

美馬市広域ネットワークは光ファイバーで美馬市全域をネットワーク化することで、地域格差の無い情報利用環境を整備します。美馬市地域イントラネット整備事業、美馬市加入者系アクセス網整備事業による地域情報化を経て、計画的に美馬市のデジタルデバイドが解消され、ユビキタス社会へと発展していきます。

行政の情報化

- ・議会中継、電子申請
- ・公共施設の予約

防災の情報化

- ・防災情報の高度化

教育の情報化

- ・遠隔授業参観、学校間交流
- ・遠隔講義、生涯学習の支援

保健、医療、福祉の情報化

- ・在宅健康管理、見守り支援
- ・遠隔診療支援、子育て支援



産業の活性化

- ・特産品の販売支援
- ・農業情報支援
- ・広告情報発信支援

市民活動の支援

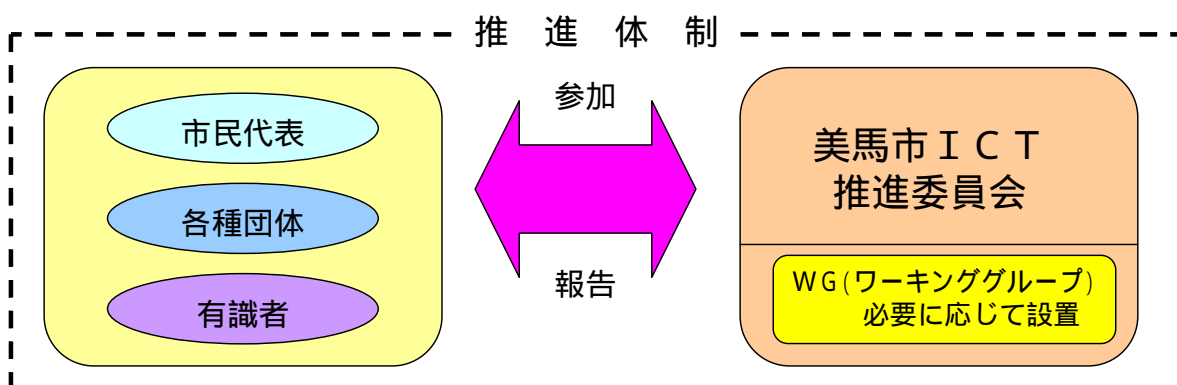
- ・ITを活用した新たな産業創出の支援
- ・NPO、ボランティアなどへの支援

市民の情報化

- ・放送のデジタル化対応のCATV
- ・高速インターネットサービス
- ・IP電話サービス
- ・音声告知サービス

美馬市地域情報化の推進体制

美馬市地域情報化プランを具体化していくために、本市の行政だけでなく、広く関係団体の意見も反映させて美馬市地域情報化を考えていきます。美馬市地域情報化を検討していくために、美馬市ICT推進委員会を設立します。美馬市ICT推進委員会は、行政に携わる各担当部署職員のほか、市民代表・各種団体・有識者などによる組織構成となります。また、個別の案件の検討や実施の支援、進捗状況の確認を行うために必要に応じて委員会の下にWG（ワーキンググループ¹⁶）を設置します。



16 ワーキンググループ (working group)

作業集団や作業部会などの特定の仕事や任務のために作られる集団のことを指す。

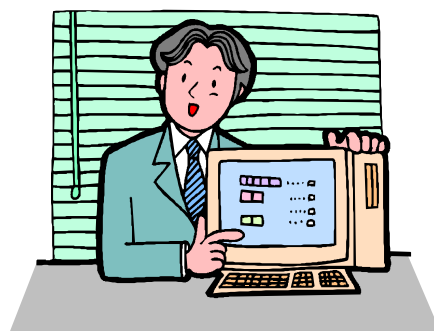
美馬市地域情報化についての説明会

美馬市地域情報化の目標や狙い、基本構想を美馬市民にわかりやすく理解してもらい、その恩恵をあますところなく誰もが享受できるよう、行政として広報紙や公式ホームページ¹⁷、説明会などを通じて普及啓蒙に務めてまいります。



パソコン・インターネット体験教室

誰でも参加できる、パソコンやインターネットの体験教室を開催していきます。身近で参加しやすい場所と日時で、きめ細かく行っていきます。



¹⁷ ホームページ (homepage)

Web¹⁸ ブラウザに登録して起動時に表示するように設定してある Web サイト¹⁹のこと。Web の普及にともなって単に Web コンテンツの入り口となるトップページをホームページと呼ぶようになってきた。

¹⁸ ウェブ (Web) World Wide Web の略。

¹⁹ サイト(site) インターネットでサーバー²⁰のある場所のこと。通常はサーバーと同じ意味で使われる。

²⁰ サーバー(server) インターネット上で各種のサービスを提供しているコンピュータのこと。